

活力 あふれる 元気 なまちづくり



# 青木みつる

## 後援会ニュース

発行 青木みつる後援会事務局 静岡県伊豆の国市大仁570 東芝テック労働組合伊豆支部内  
TEL(0558)76-9796 FAX(0558)76-9834

### 第1回(3月)議会報告

## 平成31年度一般会計の当初予算、過去最大223億円

平成31年第1回(3月)伊豆の国市議会定例会は2月21日に開会し、3月14日までの22日間の会期で開催されました。

本定例会では、初日の冒頭に小野市長から平成31年度の施政方針が示された後、行政報告及び上程議案の一括提案理由の説明がされました。その後、市当局より条例案件8件をはじめ25件の議案が上程され、「伊豆の国市副市長定数条例の一部を改正する条例の制定について」、「伊豆の国市中小企業・小規模企業振興基本条例の制定について」、「伊豆の国市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の制定について」、及び「平成31年度伊豆の国市一般会計予算」、「平成31年度伊豆の国市国民健康保険特別会計予算」などの平成31年度各種会計予算案8件については、大綱質疑の後、所管の各常任委員会に付託されました。

最終日には、追加議案「平成30年度伊豆の国市一般会計補正予算(第7号)」が原案通り可決された後、各常任委員会に付託された議案2件および各種会計予算案8件が討論を経て可決されました。平成30年第4回(12月)定例会にて否決となり再度上程された「伊豆の国市副市長定数条例の一部を改正する条例の制定について」は、青木みつる議員は伊豆の国市の今後の発展を考え賛成の立場で臨み、賛成討論も行いましたが、賛成少数により否決となりました。

なお、一般質問については、3月5日~7日の3日間で14人の議員が多方面にわたる質問を行いました。青木みつる議員は3月5日に登壇し「仕事と介護の両立について」を質問しました。

### 【平成31年度予算】

(単位:千円)

| 区分      | 平成31年度      | 平成30年度     | 増減額       | 増減率      |        |
|---------|-------------|------------|-----------|----------|--------|
| 一 一般会計  | 22,300,000  | 18,720,000 | 3,580,000 | 19.1%    |        |
| 特別会計    | 国民健康保険      | 5,730,000  | 5,920,000 | ▲190,000 | ▲3.2%  |
|         | 後期高齢者医療     | 581,000    | 580,000   | 1,000    | 0.2%   |
|         | 介護保険        | 4,347,000  | 4,019,000 | 328,000  | 8.2%   |
|         | 楠木及び天野揚水場管理 | 15,000     | 15,000    | 0        | 0.0%   |
|         | 簡易水道等事業     | 108,000    | 240,000   | ▲132,000 | ▲55.0% |
|         | 下水道事業       | 1,362,000  | 1,342,000 | 20,000   | 1.5%   |
| 上水道事業会計 | 1,137,581   | 1,044,380  | 93,201    | 8.9%     |        |
| 合計      | 35,580,581  | 31,880,380 | 3,700,201 | 11.6%    |        |

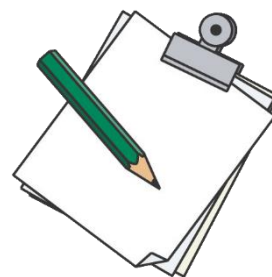
### 【平成31年度の主な事業】

#### ◆新規事業

- ・基金管理事業(地域振興基金積立金) 2,185,200千円
- ・長岡南小学校大規模改修事業(トイレ全面改修) 106,605千円
- ・高齢者施設整備促進事業 85,600千円

#### ◆継続事業

- ・斎場整備事業 845,595千円
- ・企業立地促進事業(企業立地促進事業費補助金) 340,269千円
- ・深沢橋架替事業 157,048千円
- ・広域廃棄物処理施設整備事業 140,143千円



## 【主な議案】

## I. 条例（8件）

- ◆伊豆の国市副市長定数条例の一部を改正する条例の制定について（否決）
- ◆伊豆の国市中小企業・小規模企業振興基本条例の制定について
- ◆伊豆の国市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の制定について、ほか

「伊豆の国市中小企業・小規模企業振興基本条例」は、青木みつる議員が初めて行った一般質問（平成29年9月定例会）で取り上げました。本条例は、地域の実情に適した産業振興や中小企業施策を実施する根拠となります。また、市としての主体的な姿勢、責任が明確になるとともに、地域全体で中小企業を支援するという公の宣言にもなります。

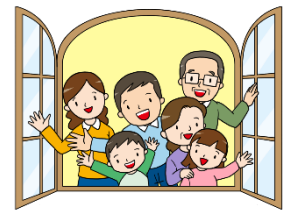
## II. 補正予算（7件）

- ◆「平成30年度伊豆の国市一般会計補正予算（第6号）（第7号）」、ほか5特別会計、全7件の補正予算  
一般会計の主な補正予算（補正額▲126,881千円 総額20,272,619千円）
 

|                       |            |               |          |
|-----------------------|------------|---------------|----------|
| ・公有財産維持管理事業           | ▲182,371千円 | ・長岡北浴場維持管理事業  | ▲8,953千円 |
| ・長岡南小学校大規模改修事業        | 109,182千円  | ・長岡中学校大規模改修事業 | 52,091千円 |
| ・小学校屋外トイレ改修事業（韮山南小学校） | 25,196千円   |               |          |

## III. その他（3件）

- ◆静岡地方税滞納整理機構の規約変更の協議について
- ◆伊豆市伊豆の国市外1組合公平委員会委員の選任の同意について
- ◆伊豆の国市教育委員会委員の任命の同意について



## 青木みつるの一般質問(要旨)

## ～仕事と介護の両立について～

問) 超高齢化社会に突入するなか、介護を必要とする方も増加し、その方を介護する家族や親族も多くなってくると思われ、今後、介護者への支援はますます重要性を増してくると考える。市内においても介護をしながら働いている方も多くいると思うが、地域経済を支えている方々が安心して働ける環境をつくるのが重要である。働きながら介護をしている方に対して、どのような支援や情報提供を行っているか。また、介護を理由とした離職の防止に向けた取り組みは。

答) 介護認定申請を初めて申請する方に対しては、市の窓口や市内3カ所の地域包括支援センターで介護認定申請からサービス受給までの流れについて説明をし、速やかにサービスが受けられるよう努めている。

支援については、家族が仕事で日中不在の場合など、デイサービスやショートステイ等を利用することにより介護者への負担を軽減することができる。

介護を理由とした離職防止に向けた取り組みについては、介護サービス基盤の整備を進め、市内の介護サービス事業所を充実させることにより、介護者への負担軽減を図り、離職防止につなげたいと思っている。

問) 現在、介護にかかわっていない方に対して、介護が必要になった場合の相談窓口の周知はどのように行っているか。また、企業の就労環境の整備も重要であると考えますが、市内の企業に対して、育児・介護休業法などの周知は行っているか。

答) 高齢者の相談窓口として、地域包括支援センターを市内に3カ所設置しており、市のホームページへの掲載やパンフレットの配架等をしている。また、市内の医療機関、歯科医院、薬局、認知症サポーター養成講座を受講した民間企業等に地域包括支援センターのパンフレットやポスターの配架を依頼している。講座の中でも、高齢者のための相談窓口として当市相談センター及び地域包括支援センターを紹介している。

市内企業への育児・介護休業法の周知については、市の窓口で国や県より送付されるポスターの掲示やリーフレットを配架し、周知に努めている。

## 青木みつるよりひとこと

伊豆の国市に秘められた可能性を最大限に引き出すため、みなさま一人一人の声を市政に発信し、みなさまと共に良いまちづくりを実現していきます！！

皆さまの声を今後の活動に活かします。  
ご意見・ご要望を後援会事務局までご連絡ください。

